



放課後等ディサービスまあむ 佃

事業所訪問

☆定員…1日10名
☆送迎…行っています。
☆対象者…療育を必要と判断された青森市内の中学
生・高校生を対象

明るくて、きれいな活動スペース

放課後等ディサービスまあむ佃

中学生・高校生を対象とし、就労をより意識し、社会に適応していくためのスキルを身に付け、卒業後の就労や自立した生活が送れるよう必要な力を持つトレーニングを行っています。

お問い合わせ先
〒030-0963
青森市中佃2丁目21-4
フルミエビル 101号
TEL 017-718-7078
FAX 017-718-7079

食育にも取り組んでいます、調理実習・食事のマナー・給仕のトレーニングも行っています。

まあむ佃

平館福祉会では
SDGsに取り組んでいます！



- ・行政と協力連携し、廃校施設利活用の検討
- ・農福連携と地産地消(自産自消)への取り組み
- ・舞茸生産で発生する廃オガを土壤改良剤として活用
- ・利用者の活動や地域で生産された生産物や資源を給食食材として消費する

子育てサポート企業の認定を通して、育児に優しい社会的企業を目指しています！

10月21日より、相談員田中の勤務地が変わりましたのでお知らせ致します。
住所030-1303
外ヶ浜町字蟹田鰐ヶ淵7-4
外ヶ浜町支援センター内
TEL/FAX0174-22-4360



12月のあおねっとコラム

さて、今年も気づけば、もはや師走、コロナ禍の3年目が間もなく終わろうとしています。毎年この時期を迎えると私がいつも思う事を2点お話しします。まず、1つ目は年末になると1年を振り返ることが多くなり、振り返りながら、「今年、1年間はこれを頑張った。これを成し遂げた。」とは、なかなか思えず、毎年、反省や後悔が先に立ち、「ああすればよかった」、「こうしたらよかった」という思いを次の年の目標にしている事です。

今年の失敗を来年からはしないように、失敗しても、繰り返さないように、今日できたことは明日以降も続けられるように取り組むようにしています。2つ目は、毎年、年の瀬になると不思議に思う事があり、それは年齢を重ねるごとに、1年が過ぎるのが早く感じられるはどうして?という事です。相談や新青森の職員にも聞いてみたところ「確かに、早く感じる」、「そう思う~」、「学生の頃と比べると早い」、「毎日が早い」、「1ヶ月が早い、仕事がたまる~」と共感の言葉。理由については様々あり、「子供の頃と今とは時間の価値観が違う」、「忙しいから?」人によって考え方も答えも様々でした。ある哲学者は「主観的に記憶される年月の長さは年少者にはより長く、年長者にはより短く評価される」と言っています。この法則は科学的根拠があるわけではありませんので、本当かどうかわかりません。誰か理由のわかる方、教えてください。

というわけで、皆様にとりまして新しい年が充実した1年になりますように
～よいお年をお迎えください～

相談支援事業所あおねっと 所長 前田 治



【発行】社会福祉法人 平館福祉会
相談支援事業所あおねっと(特定・一般・障害児)

〒038-0003 青森県青森市石江5丁目4-2-203
Tel 017-752-8183 Fax 017-752-8184
<http://care-net.biz/02/aonet/> info@t-aonet.com

